

# 練馬区立リサイクルセンター ゆずりは vol.34 APR. MAY 2018

わが家の食品ロス削減大作戦!! 報告 REPORT

## 皆さまのご協力に感謝!

わが家の食品ロス削減大作戦!! 報告 REPORT

皆さまのご協力に感謝!

今後のイベントスケジュール

6月の環境月間イベントに合わせてフードドライブを実施します!

持ち寄っていただいた未利用食品 402.2kg!

実施場所	期間	受付件数	食品点数	重量
豊玉リサイクルセンター	10月 8日(日)~10日(火)	58件	579点	113.7kg
関町リサイクルセンター	10月 22日(日)~24日(火)	37件	290点	97.4kg
春日町リサイクルセンター	11月 5日(日)~7日(火)	43件	332点	96.1kg
大泉リサイクルセンター	11月 19日(日)~21日(火)	33件	226点	64.2kg
練馬区役所(シンポジウム)	1月 20日(土)	18件	101点	30.8kg
合 計		189件	1,528点	402.2kg

「買いすぎず、使いきる、食べきる」食生活へ

食べ残し、皮のむきすぎ、賞味期限切れによる廃棄に代表される「食品ロス」。この削減のために、環境面や家計面にとってもプラスになるような工夫をすこしづつ形でご紹介した本誌vol.31の特集「食品ロスを減らそう！」には、大きな反響が寄せられました。

これは、多くの方が食品ロスに心を痛めていた証拠。食品ロス削減のポイント「買いすぎず・使いきる・食べきる」ための食生活の改善に取り組まれた方も多いのです。

「フードドライブ」と「食品ロス削減シンポジウム」を開催!

誌面ではさらに、「もっといい行動に！」を実践するための2つのイベントも告知しました。それが、①「フードドライブ」(ご家庭で余っている未利用食品を持ち寄り、必要としている団体等に寄付するボランティア活動)を実施すること ②「食べ物のムダについて考えるシンポジウム」を開催すること、です。名付けて「わが家の食品ロス削減大作戦!!」。今号では、これらのイベントの結果をご報告します。

わが家の食品ロス削減大作戦!! 報告 REPORT

食べ物のムダについて考えるシンポジウム

講演

見つけ直そう食生活、減らそう食品ロス 東京農業大学国際食料情報学部教授 上岡美保さん

日本の食料自給率は38%です。自給率を上げる方法は2つ、食品ロスを減らすこととムダな消費を減らすこと、もしくは地産地消することで自給率向上につながることです。

核家族化が進み、母から子へ、子から孫へと調理技術が受け継がれない、教えてくれる人が周りにいない家庭が増えても、食品ロスを増加させる要因です。家庭、学校、地域、行政、食品産業など社会全体で取り組む食育の推進は不可欠。食の循環・環境を意識した消費行動や農業を知ることで、食品のムダな消費は削減できるはずです。私たち一人ひとりがこうした意識を持つことが今求められています。

パネルディスカッション

進行役は上岡教授。フードドライブ、家庭でできる食品ロス削減をテーマに、NPOや練馬区、練馬区立リサイクルセンターの取り組みを紹介しました。

個人や企業から食品ロスになる前の余剰食品をお預かりし、食べ物に困っている方へお届けする活動を行っています。缶詰やインスタント食品・レトルト食品、お子さまにはホットケーキミックスなども喜ばれます。善意でいただいた食品をしっかりと管理して提供していくことを第一に考えています。

芝田雄司さん セカンドハーベスト・ジャパン パンツーリングマネージャー

誰もがすぐにできる、生ごみをできるだけ出さないことをから始めてはいかがでしょうか。食べ残しを未然に防ぐために、リサイクルセンターの講座を活用するのもとてもいい方法だと思います。

上岡美保教授

4カ所のリサイクルセンターでは、エコ環境講座を通じて食品ロス削減を提唱。野菜や魚の使いきり講座や干し野菜講座、生ごみを資源にするダンボールコンポスト講座など人気です。

川口 齋 関町リサイクルセンター所長

「生ごみを減らそう、生ごみを資源に」テーマに、年間1,500人以上の区民に、たい肥作りやキッチン野菜作りを実演。自分で育てた野菜は最後まで食べることができます。

林田田美子さん 関町リサイクルセンターボランティア

食品ロスの削減は、練馬区の大きなテーマ。「もっといい行動に！」をスローガンに、平成30年度も区民の皆さんとともに「フードドライブ」事業を展開していきます。

山崎直子 練馬区環境部 清掃リサイクル課長

フードドライブ事業を実施して

インタビュー&アンケート

来場者の皆さまにシンポジウムの感想をインタビュー。ご協力いただいたアンケート結果の一部をご紹介します。

Q1 なぜ食品が余ったのでしょうか?

- ・いたくものなど ..... 74人
- ・買い置き ..... 16人
- ・買いすぎ ..... 13人

Q2 なぜフードドライブに食品を提供したのでしょうか?

- ・捨てるのがもったいないから ..... 74人
- ・食に困っている人の役に立ちたいから ..... 41人

Q3 現在行っている食品ロス削減への取り組みは?

- ・調理のムダを省く。
- ・料理は作りすぎない。
- ・残った料理はリメイクする。
- ・なるべく皮まで使う。皮が出たらペーストしてだしをとり、カレーなどに使う。
- ・必要なもの以外は買わない。
- ・根菜の葉を干して、汁の具にする。皮や茎をまとめてスープに。
- ・食事や飲みに行くときは、周りの方に「残さないよ」と声をかける。
- ・消費期限を確認して、食べる計画立てる。
- ・フードドライブへ提供する。
- ・常時冷蔵庫の中を整理する。
- ・外食時はライスを減らしてもらう。
- ・また貰いをやめた。
- ・残った食品や料理は冷凍する。

Q4 シンポジウムをきっかけにこれからやってみたいことは?

- ・農業と食を結びつけた活動をしてみたい。
- ・生ごみのたんぱく質に挑戦したい。
- ・孫の食育、農業体験。
- ・わが家で出しているごみの量を記録したい。
- ・フードドライブへの持ち込みを意識したい。
- ・賞味期限、消費期限の管理を徹底したい。
- ・使い切りや減らし、調理を工夫したい。
- ・食べ物を大切にする気持ちを常に忘れない。
- ・安いからと買いつぶるのを注意したい。
- ・食品ロス削減。町会でも取り組みたい。
- ・地産地消を意識したい。
- ・環境負荷の少ない食材を選びたい。

4月からびん回収の対象品目を追加 飲み薬・化粧品(乳白色除く)の空きびんも資源としてお出しください

練馬区では、飲食用びん・缶・ペットボトルを専用の回収用コンテナ・袋で資源回収しています。びん回収の対象品目は飲食用びんのみでしたが、4月から飲み薬の空きびんと化粧品の空きびん(乳白色除く)が追加されます。資源としてお出しください。

回収できるびん 軽くすりいで水けをきり赤色のコンテナへ

回収できないびん 不燃ごみへ

追加品目 飲み薬の空きびん(乳白色除く)

※金属製のふたは不燃ごみ、プラスチック製のふたは容器包装プラスチックです。

東京オリンピックをリサイクルの側面から盛り上げよう! 携帯電話の臨時回収にご協力ください

練馬区は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルの製作に、不用になつた小型家電製品に含まれる有用金属(金・銀・銅)を活用する「都市鉱山からくる!みんなのメダルプロジェクト」に参加しています(下記「常設回収」参照)。

このプロジェクトへの参加拡大を図るために、ご家庭で不用となつた携帯電話・スマートフォンの臨時回収を行うことになりました。黒色の回収ボックスを7ヵ所の区立施設に設置しますので、直接投入をお願いします。

回収ボックス設置場所 加町地域集会所、総合体育館、上石神井体育館、平和台体育館、光が丘体育館、中村南スポーツ交流センター、三原台温水プール

回収対象品目 携帯電話・スマートフォン

回収期間 平成30年4月16日(月)~平成31年3月31日(日)

練馬のエコスポット 第27回 大泉学園通りの桜並木

春うらら。毎年、大泉学園駅北口から自衛隊の朝霞駐屯地に向かう大泉学園通りの約3kmの沿道が注目を集めます。沿道の桜のつぼみが膨らみ始めたと思ったら、二分咲き、五分咲き、八分咲き…春の訪れとともに、あっという間に桜のトンネルが出現! 歩きながら、自転車を走らせながら、バスや車の車窓から、人々を幸せな気分にさせてくれる桜並木は、区内有数のエコスポットになっています。

かつては練馬大根の生産地だったこの地に、大正13年(1924年)「東大泉駅」が開設。昭和8年(1933年)に風致地区に指定されると、駅名も「大泉学園駅」に改められ、大泉学園通りの沿道に桜が植樹されました。そして昭和50年代、大泉学園通りの拡幅工事等が行われた際に、桜並木として整備されました。現在の桜には昭和8年当時に植樹された古木も多く、練馬区では平成12年(2000年)から2年かけて、全264本を対象に樹木医による健康診断を実施。不健康な木39本を植え替えるなど、維持に努めています。

地域でも、後世に美しい桜並木を引き継ぎたいという有志の皆さんによる「大泉さくら祭り」を結成。通りの清掃や下枝の刈り取りなどを行うほか、「大泉さくら祭り」を開催するなど、活発な活動を展開しています。第16回を迎える今年のさくら祭りは、3月25日(日)に決定。近くの中学校や公園では模擬店や各種イベントなどが行われる予定です。例年、沿道のお店では桜にちなんだお菓子が売り出されたり、桜をテーマにした展示会が開催されるなど、街の観光名所となって盛り上がります。この日のみ登場するさくら祭りのキャラクター「さくらんちゃん」に出会うチャンスも! 満開の桜の下で春の訪れをお楽しみください。

西池袋線「大泉学園駅」北口から延びる大泉学園通りの約3km

